

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第20号

発行 2011年5月15日

発行者 中村 晃

私の今日この頃

江崎 昭三



私は4年前大腸癌を、2年前膀胱癌の手術をし、癌の転移再発の可能性があるためいずれ世話になる事を予測し、昨年10月、山口から子供達の住む千葉県松戸市に転居しました。

千葉県は日本で東京・神奈川・大阪・愛知・埼玉に次ぐ、608万人口の県で松戸市は千葉県では千葉市・船橋市に次ぐ3番目の人口の市で（48万）、新松戸は東京駅に40分の通勤圏内の町で、写真の様に街路樹等も良く整備されたよい町です。

私共は歩いて10分以内に子供達の家やJRの駅・銀行・スーパー・コープなどがあり14階建てのマンションの12階で、晴れた日にはベランダから東京スカイツリーが良く見える階に住んでいます。

転居してから半年が過ぎ、都会の生活にも慣れ、そろそろ東京の下町散策でもと思っていた矢先に、3月11日の東日本大震災が起こりびっくり。首都圏では震度3程度の揺れは気にしないと聞いてはいたが、千葉県北西部の震度6の揺れは物凄く、先ず玄関のドアを開け出口を確保（マンションの玄関は鉄ドアの為歪むと開閉が出来なくなる）外へ出るのかがやっとで、立っておれ

なく階段の手摺につかまり揺れの収まるのを待つのみ。その間家の中は本箱から本が飛び出る、食器戸棚から食器が落ち壊れ、足の踏み場も無く散々でした。幸い怪我は無く不孝中の幸いでしたが、エレベーターが止まり階段の上がり降りが大変でした。

その後、余震がひどく一週間位は服を着たまま寝る状態で睡眠不足でした。最近では余震も減りつつあるが、日によっては震度2～3程度の余震があり安心は出来ない状態です。玄関には避難用具の入ったリュックを用意して避難に備えています。（家の倒壊や家具の下敷きになった事を想定しホイッスルを持つと良い）

我々高齢の年代者が戦後の日本を支え経済大国にしてきたが、戦後65年いつしか日本全体が平和ボケしていたら、この度の東日本大震災で警鐘を鳴らされショックを受け、テレビであの惨状を見て被災地に駆けつけボランティアでもと思いますが、高齢で何も出来ず、微力ながら日赤を通じ義援金を送る事位の今日この頃です。

我々も平和ボケを反省して、我々日本人は優秀な国民であり必ずや復興を成し遂げる日まで「頑張ろう日本！」



新 入 会 員 自 己 紹 介

(坂元 ^{まさし} 均 さん)

本年2月から鐘華会に入会させて頂く事になりました、坂元 均（マサシ）と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は、出生が鹿児島県指宿市で、現在、鹿児島市内に居住しておりますが、還暦を3年前に迎えました。自由業（土地家屋調査士）のため市内に事務所を開設し、30数年が経過して現在に至っております。

昭和41年、入社と同時に旧阪本工場で10年間勤務した後、九州カネカ食品鹿児島出張所に出向して約12年間を鐘化でお世話になりました。

青春時代の全てを大津・阪本で過ごさせて頂き、言葉に尽くせぬ思いがあります。この会に入会のご紹介を頂きました、松本久夫さん、田中 武支部長さん、外のお陰により滋賀支部に在籍することとなりました。

現在鹿児島市在住でもあり、今回、中村 晃九州支部長さんのお計らいにより「支部だより」に紹介させて頂く事に感謝しております。

今般、東北地方の大地震による地殻変動で、地表面が5m程度変動したが自分の土地は、登記上どのように扱われるのかと心配されるのは当然です。今後このような対応の仕事が出てきます。東京での会議に多くて月に2～3回の出張があります。紙面の都合もありますので近況のご紹介はまたの機会に譲るとして、趣味は在り来りですが、ゴルフと磯釣りそれと最近、中国古典楽器の胡弓（二胡）を習い始めました。年寄りの冷や水とならないよう頑張りたい。

(園 博 さん)



昨年11月に新規会員となりました園です。宜しくお願いいたします。

小生は昭和49年に入社し高砂工場（業務課）、昭和55年に本社食品事業部を経て昭和59年8月にグループ会社のカネカサンスパイスに出向。なにせ経験の無い香辛料の営業・九州一円の営業車で移動など不安ばかりではありましたが、幸いなことに古里・福岡への配属で逆にラッキーと思ったことがついこの前のことに思えます。

平成19年に九州カネカ食品販売の方に辞令を受け、営業を続けてまいりましたが、とうとう定年を迎えましたが引き続き現職で頑張っていこうと思っています。

近況としましては、これといった趣味も無く、休日は犬の世話・庭いじり等をして時間を費やしていますが、今年2月に娘に男の子が生まれ、とうとう爺さんに突入——！

ゆくゆくは孫の攻撃に耐えうる体力をと思い、これを期に自らの体力回復のために毎日ボディレガッタ（ボート漕ぎ器）で体を鍛え初め「筋肉爺さん」を目指している今日この頃です。



近 況 報 告 (職場訪問時の返信)

永井 辰夫

長男は栃木県宇都宮市に居るので地震と原発のダブルパンチで心配です。次男は高3になるので、進学か就職のどちらを選ぶか気を揉んでいます。こちらは定年まであと1年。カウントダウンが始まりました。

池田 広治

建築業界は受注が厳しいのに加え、エコポイントのせいで断熱材を始めとして資材入荷の心配もしなければなりません。今度の巨大地震で今までと比較にならないくらいの影響が出そうです。相変わらず奮闘中です。

薬師寺 是文

ゴルフだけでも参加出来ればと思ったのですが、都合がつかずに欠席。建築業協会津久見支部の席で70才を目前にまだ頑張っています。

坂元 均

今年2月、滋賀支部に入会させていただきました。九州支部での行事等にも参加させて頂けるとのことですので、よろしくお願いいたします。

成相 定雄

体調不良につき今回は欠席します。

石原 晋一郎

小生も80才になり元気ですが体も気力も落ちてきて限界を感じるようになっていきます。九州は15年も暮していましたので感心は強く持っていますので時間があれば写真や陶芸等でもう一度足を運びたいと思います。胆石除去で1週間程度入院します。(その後のお便り:4月14日に大阪市立大学付属病院にて胆石に手術を行いました。胆石の状況はかなり悪くて間一髪救われました。術後の経過は順調で、4月26日に退院し、現在鐘華会陶芸展で頑張っています。

上野 賢二

去る2月11日(祝)に城島町、三潞町、大善寺町の9蔵元が参加した「第17回城島酒蔵開き」は来場者数55,000人で過去最高となりました。名実共に九州最大の酒蔵開きに成長しました。来年は皆様が来場されることを期待しております。(彼は実行委員長として活躍しています)

市木 丞

近在の低山歩きを楽しんでいます。

廣政 誠

元気でゴルフのプレーを楽しみ、スコアで苦しんでいます。

橋本 滋

毎日が日曜日。平穏無事に過ごしています。

上野 與志隆

北九州市の副都心とはいえ黒崎の町は元気がなく諦めの強いシャッター街です。「なんかせんといかんばい」と言いながら飲んでいます。

青木 得志

朝、1時間の散歩は続けております。母親より先にならぬために。

楢崎 賢治

昨年10月の腰部脊柱管狭窄症後遺症である右足裏のシビレに悩まされています。そのため、整骨院へ週3~4日通っています。

川上 義人

伊予西条に於ける介護生活が7ヶ月目と長期となりくたびれています。4月11日に特別老人ホームへの入居が決まりましたので、15~16日頃には帰熊出来そうですので、久し振りに皆様にお会いできるのを楽しみにして居ります。ゴルフはいくつ打つか判りませんが参加こそ大事です。

園 博

昨年11月に定年を迎え九州支部へ加入いたしました。定年後は一旦休憩し、再スタートをと考えましたが家族の反対も大きく、現在は九州カネカ食品販売(株)の方で引き続きお世話になっており定年したとの認識はあまりなく営業に邁進している毎日です。以後、宜しく願いいたします。

中村 晃

古希を迎え同期会が続いています。昨秋、高校、今年4月は小学校、5月は大学、9月は中学です。どれも懐かしいのですが、小学校は約60年振りの人が多く、同じ部落(三潞郡三又村大字鐘ヶ江一ド田舎です)の人以外はほとんど判りませんでした。

カネカメディックス訪問・懇親会



平成23年度の職場訪問が4月19日（火）午後、カネカメディックス福岡営業所に11名が参加して行われ、カネカメディックスと九州カネカ食品販売及びカネカケンテック・九州カネライトの近況の説明を受けました。

カネカの医療器事業は、大きく変貌をとげ従来の血漿分離と吸着を組み合わせた血液浄化システムが伸び悩む中でインターベンション分野の製品、特にPTCA、PTA、コイル、血液吸引デバイス、脳動脈治療デバイス等が大きな伸び、急速な発展ぶりとのことで驚きました。

九州の食品事業も従来からお聞きしていた諸施策が開花しつつあるようで頼もしいお話でした。この数年の売上高続伸の報告とともに加工品の改善や技術指導を含む情報の取り込みと新製品の開発もあわせて進められている様子。それに加えて九州新幹線の全線開通による博多事務所の開設で情報収拾能力の向上に寄与してよかったとの話でした。

カネカケンテックとカネライトも従来の頑張りによって力強く進み、全国の4生産拠点がうまく配置になっていて食品事業の場合と同様に東北関東沖大震災での建材不足と輸送距離とコスト的に貢献し九州の売上高にもプラスになっていることと鹿島工場の被害からの回復も早かったことも後押しになっている様子。

以上のとおり九州はどこも順調で出席者一同喜びに包まれました。

夜は天神の平和楼本店に移り現役の数人の方々のご出席もあり全員で楽しい一時を過ごしました。ゴルフ組は翌日に備え福岡で宿泊とのことでした。 青木 得志 記

第5回山九会ゴルフコンペ



開催日： 平成23年4月20日（水）

開催場所： 太宰府ゴルフ倶楽部

成績：

順位	氏 名	IN	OUT	GR	HD	NET
優勝	川上 義人	47	46	93	16.8	76.2
準優	廣政 誠	50	50	100	22.8	77.2
3	田中 光昭	50	48	98	20.4	77.6
3	上野 與志隆	49	49	98	20.4	77.6
5	橋本 滋	53	55	108	27.6	80.4
6	王寺 常雄	57	61	118	36.0	82.0

戦 記：

1. 天気晴朗にして、風 適当にあり。
2. コースコンディションは良好。フェアウェイは広く、距離も充分あり、タフなコース。但グリーンは高麗芝で芝芽強く、切れが厳しい。選手を悩ます。
3. 選手の体調は充分な者と不十分な者の差激しく、日頃の節制必要。
4. 成績は予想通り、練習量による。
特に優勝者は久しぶりのコースらしいが、毎日の打ち込み、練習の量は人一倍。準優者は70回/年のプロ並みのプレイ回数。また、現役の飛距離は他の者を100ヤード近く置いて行く。ブービーメーカーは他業に忙しく、ゴルフは楽しみと。
5. 次回秋は鹿児島でも指宿でのゴルフの希望者が多かった。総会場所選定には大きな影響力となる。

上野 與志隆 記

【平成23年度支部活動報告】

◇既に実施した行事

年	月	日	活動内容
23	01	25	(鐘華会全体役員会)
	02	01	(鐘華 64 号)
	02	14	支部幹事会 (小倉にて)
	04	19	職場訪問・懇親会 (11 名 / 15 名)
	04	20	第 5 回山九会ゴルフコンペ

◇これからの予定

年	月	日	活動予定
23	05	15	支部だより第 20 号発行
	06		(鐘華第 65 号)
	08		(鐘華会全体役員会)
	08		支部幹事会
	11		支部だより第 21 号発行
	11		支部例会
	11		第 6 回山九会ゴルフコンペ

(特記事項)

*職場訪問はカネカメディックスへ。

*今年の例会はゴルフ組の希望で鹿児島(指宿)か？

(会員の異動)

*転出 江崎 昭三さん→東京支部

*新入 園 博さん

坂元 均さん (滋賀支部籍、鹿児島在住)

【支部活動費 22 年度報告及び 23 年度予算】

項 目	22 予算	22 実績	23 予算
支部だより送料他	12,000	11,889	13,000
例会写真代他	4,500	6,361	7,000
職場訪問通信費	3,000	4,950	5,000
幹事会通信費補助	8,000	4,000	4,000
例会通信費	4,000	3,577	4,000
その他	400	120	300
合計	31,900	29,897	33,300

(特記事項)

*特になし

【定例役員会報告】

◇平成23年1月25日、カネカ芦屋荘にて定例役員会が開催された。

◇主な内容は下記の通りです。

①山崎会長挨拶

昨年度は1年間延期となった第7回鐘華会総会を開催することが出来た。参加された皆さんはほぼ満足されたと感じている。但し、日程が高砂の秋祭りと重なった為、次回は考慮する必要がある。「鐘華」をA4版でカラー印刷として、充実させた。

②平成22年度決算、23年度予算について

・支部活動費は前年度と同様に、実質所属人員×@700、鹿児島、九州については+20,000円で配賦。

③各支部活動報告、活動計画について

(高砂)

・本年度は「鷹尾治久後援会」の活動を行った。

・支部長 田中義一さん → 片寄栄二さんへ。
三浦保さんが副支部長に就任。

(大阪)

・22.09 に支部独自のホームページを閉鎖し、本社支部が開設した鐘華会ホームページに支部のページを開設した。

(滋賀)

・22.10 に鐘華会ホームページに支部として参加。

・「鐘華」編集委員が村上一夫さん→貴堂雅路さんへ。
(鹿児島)

・鹿児島総業 40 周年記念式典に参列した。

・忘年会、新年会、旅行、史跡巡り等の定例化を図りたい。

(本社)

・同好会活動の若返りを図りたい。また、女子会員の獲得策を検討したい。

(東京)

・四谷クラブの利用率アップを図りたい。

(九州)

・メンバーが少ないため、ゴルフコンペへの他支部の方の参加を期待している。

あとがき

- ・山口から千葉県松戸市に転居された江崎昭三さんに「私の今日この頃」を書いていただきました。江崎さんの言われる通り、今回の大震災は、戦後 65 年間平和ボケしている我々に対する警鐘だったのかもしれませんが。そして、「国家」や「共同体」の存在の大切さを改めて考えさせられました。
- ・新入会員の坂元さんと園さんに自己紹介を書いていただきました。坂元さんの名前は正式には「均」(マサシ)ですが、メール等では「均」で通されているようです。
- ・恒例の職場訪問は、「カネカメディックス」の沖所長に快く引き受けていただき充実した訪問になりました。今年も九州の各社から元気をもらいました。頑張れ！九州のカネカ関連各社！
- ・「支部だより」も 20 号になりました。年 2 回発行してきましたので 10 年になります。皆様のご支援、ご協力によってなんとかこれまで続けることが出来ました。これからも、よろしくお願いいたします。